



会報

いきいき

IKI IKI



街頭PR活動（10月25日 管内大手スーパーにて/関連記事5ページ）

主な内容 -CONTENTS-

- ▶ 平成28年度地区会議開催……………P.2
- ▶ 平成28年度安全実績・会員理事視察研修……………P.3
- ▶ 各種講習会……………P.4
- ▶ 普及啓発PR活動・職群班訪問……………P.5
- ▶ お客様からひとこと・私たちの奮闘記……………P.6
- ▶ 会員のひろば・甲斐路（ふるさとの祭り）……………P.7
- ▶ 事務局からのお知らせ……………P.8

公益社団法人

峡中広域シルバー人材センター

〒400-0115 山梨県甲斐市篠原2644番地3
 Tel 055-279-6626
 Fax 055-279-6620
<http://www.kyochu-sjc.jp/>
 E-mail: kyochu@sjc.ne.jp

会員数 833人（男性 584人・女性 249人）

—平成29年3月1日現在—

平成28年度

地区会議 が開催されました



事務局の説明に耳を傾ける会員の皆さん (中央市合同会議)

この地区会議は、センターの活動状況の報告や会員相互の情報交換の場として、今後の事業運営に活かして行くことを目的に、各地区の理事や班長が中心となって毎年開催されており、甲斐市は竜王、

平成28年度の地区会議が、2月1日の双葉地区から2月17日の昭和地区まで、2市1町の12地区が5会場に分かれて開催されました。事務局から事業運営状況や事故内容の報告のほか、今年度、国が作成した適正就業のガイドラインに関する会員向けパンフレットによる説明があり、会員の皆さんの理解と協力が求められました。

敷島、双葉の各地区、中央市は玉穂、田富、豊富地区の合同、そして昭和地区で開催されました。

会議では、まず事務局から平成28年度のセンター事業の運営状況や事故の発生状況などについて報告があり、会員数については、本年度は微増で推移していること、契約実績については、不透明な経済情勢や秋口の長雨の影響を反映し、公共・民間とも受注はやや減少気味にあること、従来からの家事援助サービスに加え介護予防の生活支援事業が増加傾向にあり、この分野の就業拡大が期待されることなどの説明がありました。事故発生状況では、今年度は減少傾向にあるものの、草刈作業等における損害賠償事故が後を絶たないことから、改めて注意が呼びかけられました。

就業形態別の主な相違点と業務例

区分	請負	委任	派遣	職業紹介
目的	会員が業務を独立して完成するものであること。	会員が一定の業務を実施するものであり、業務の完成を目的とするものではないこと。	会員が発注者の指揮命令に従い就業すること。	会員などが発注者の指揮命令に従い労働すること。
会員の雇用	会員は雇用されない。	会員は雇用されない。	シルバー人材センターが会員を雇用する。	発注者が会員などを雇用する。
指揮命令	会員は請負った業務を自らの裁量で完成させるため、発注者は会員に指揮命令できない。	会員は委任された業務を自らの裁量で処理するため、発注者は会員に指揮命令できない。	発注者は会員に指揮命令できる。	発注者は会員などに指揮命令できる。
主な業務(例)	清掃・除草作業・植木の剪定・宛名書き・ふすまや障子張りなど	観光ガイド・高齢者の見守り・話相手・留守番など	デイサービス利用者送迎などの自動車運転・用務員・調理・介護補助・保育補助など	派遣と同じ

また、センター会員の適正就業を確保するため、今年度、厚生労働省が作成したガイドラインの会員用パンフレット「シルバー人材センターのご案内」について説明があり、就業形態ごとの適正な就業

方法等について理解を深めました。この後、各地区からは親睦活動などの報告や女性部から講習会への案内がありました。なお、就業形態別の主な相違点と業務例は左表のとおりです。

作業前の安全確認を

今年度の事故発生状況

平成28年度の事故発生状況は、2月末までで傷害事故1件、損害事故4件の5件となっています。

傷害事故の内容については、水道の検針業務中、段差でつまづいて足をひねり、その弾みで足の裏を骨折してしまいました。

損害事故の内容については、自走式の芝刈機による芝刈作業中に、直径2cmほどの平らな石を飛ばし、走行中の車両の運転席側の

ドアをへこませてしまいました。

また、刈払機による事故は、樹木や遊具の周りなど、通常は手作業で実施しなければならぬ場所を、刈払機により作業を行ったことが原因の事故でした。

さらに、センターの車両を使用している業務中に、交差点に進入する際の安全確認を怠ったため、出合い頭での車両同士の衝突事故も発生しています。

会員の皆さんの安全意識の向上により事故件数は減少傾向にあり

事故発生件数の推移 平成29年2月末日現在

年度	会員数(人)	就業実人員(人)	事故発生件数				合計
			傷害事故			損害事故	
			途上	就業中	小計		
25	884	797	1	1	2	7	9
26	840	709	0	3	3	8	11
27	818	698	0	5	5	2	7
28	831	674	0	1	1	4	5

傷害事故発生状況

事故の種別	事故の内容	件数
転倒	段差でつまづき左足の裏を骨折	1
合計		1

損害事故発生状況

事故の種別	事故の内容	件数
除草作業	芝刈機の飛散物で車の一部を破損	1
除草作業	刈払機により樹木を切断	1
除草作業	刈払機により遊具を破損	1
運転業務	交差点で出合い頭に衝突	1
計		4

ますが、就業の際に安全確認を行うことで防げる事故もあります。

今後「就業現場において『安全は全てに優先する』ことを再認識し、事故ゼロを目指して、作業前や作業時の安全確認の徹底に心掛けてください。」

千葉県 佐倉市SCに学ぶ

会員理事視察研修

昨年11月、千葉県佐倉市シルバー人材センター(会員約1000人)に、会員理事11人、事務局4人の15人で研修に伺いました。

研修テーマは①自主・自立の組織体制、②就業の拡大創出、③植木作業班組織と後継者育成、④生活支援事業の取り組みの4項目で、田中会長を始め職員の皆様から話を伺いました。

佐倉市SCは、会員自ら事業運営しているセンターであり、職員は事務局長始め全員が会員で、就業機会の創出としてワンコインサービス事業、訪問介護事業・福祉有償運送サービス事業、お墓掃除サービス事業など、地域目線に立った事業を活発に

展開しています。

また、もともと植木作業から発足したセンターであり、4つの地域に120人の班員が所属しているようで、毎年、数日間かけた植木剪定講習会を実施し、定年制度も設けているとのこと。

参加した会員理事は、センター事業が地域社会に貢献していると改めて理解を深めるとともに、今回の研修が活かせるよう、今後、会員理事連絡会議や専門部会などで協議を重ねながら、当センターでも更なる組織の充実を図ってきたいと思いを新たにしました。



佐倉市SCの話に熱心に耳を傾ける理事の皆さん

各種講習会



講師の刈込技術に見入る参加者

新人育成をめざして 植木剪定講習会

昨年9月27日、甲斐市敷島総合公園で、剪定方法や安全就業を学ぶ植木剪定講習会が行われ、新人会員6人に一般5人の計11人の方が受講しました。

講師は、例年と同様、甲斐市造園組合会長で美園造園土木社長の武藤洋一さんをお願いし、枝抜きや刈込み方法を習得しました。

始めに安全は作業上の最優先であることから、ヘルメットの使用、脚立の固定や道具の安全な取扱いについて学んだほか、刈込ばさみの握り方の基礎から丁寧な指導を受け、低木の刈込から中木の剪定

までの実習を行いました。一般受講者にはシルバー人材センターへの入会を呼びかけました。今後、この日の参加者がシルバー会員として各地区の植木班や各就業先で活躍することが期待されます。

公共施設就業説明会 接遇講習会



真剣に聞き入る参加者 (竜王図書館)

平成29年度の公共施設での配置について、就業説明会と接遇講習会が開催され、中央市は昨年11月17日と25日の2日間で91人、甲斐市では11月30日と12月8日で286人の会員が出席しました。

始めに接遇研修として、畠中理事から就業上の実体験を交えた接客方法などを学んだ後、担当職員

から就業先の具体的な内容や注意点などの説明を受けました。出席した会員は真剣な面持ちで聞き入っていました。

料理講習会と 情報交換会

家事援助に活かせる実務講習会として昨年9月と10月の2回、竜王北部公民館で調理講習会が開催され、27人の会員が参加しました。

ひじきとレンコンが入ったハンバーグ、切り干し大根とサキイカが入ったサラダなど初めて使う食材が料理に使われ、大変参考になったとの参加者の感想です。

その後の情報交換会では、「家事援助の仕事は感謝され、やりがいがある」まだやったことがない



和気あいあい料理作りに励む参加者

けど、勉強しながらやってみて「い」などの意見が出されていました。

巻きバラコサージュづくり 女性対象講習会



手芸班から指導を受ける参加者

12月6日、竜王北部公民館で毛糸を使つての「巻きバラコサージュづくり」の講習会が開催され、会員と一般で約40人が参加しました。

女性部手芸班の皆さんが講師を務めるなか、参加者は毛糸一本取りで鎖目を作り、長々編と長編みで手際よく花びらを編んでいきました。編み物に親しんでいる人が多く、会話を楽しみながら一時間ほどでバラの形に仕上げました。

毛糸の種類により個性のある形となったコサージュをお互いに見せ合っていました。

PR活動・職群班

啓発活動を展開 街頭PRや祭りに参加

10月のシルバー人材センター啓発月間に合わせ、役職員を中心に各所で啓発活動を展開しました。

甲斐市、中央市、昭和町で開催された祭りイベントの会場では、それぞれチラシや花苗などの配布を行ったほか、センター主催の第8回コスモス花見会では、約500人の来場者にセンター事業や会員募集のPRを行いました。また管内の大型スーパー10カ所の店頭でチラシ配布などを行い、センターの活動を広く周知しました。今後も、会員増強や受注拡大を図れるよう、積極的に啓発活動を実施していくこととしています。



10/22 第8回コスモス花見会



11/3 中央市ふるさとまつり



10/23 甲斐市わくわくフェスタ



10/9 昭和町ふるさとふれあい祭り

職群班訪問

昭和地区植木班

今回は、昭和地区の植木班を訪問しました。1月中旬の極寒が続く日でした。土日曜日と祭日は基本的にお休みで、それ以外は朝8時半から夕方4時半まで、この日も寒さのなか頑張っていました。

リーダーの窪田俊明さんのもと65歳から79歳まで6人のメンバーが、地下足袋に防寒対策もしつかりしながらベルトできちつと締め、ヘルメットをかぶり身支度を整えて、怪我のないよう安全第一を一番に心掛けており、作業は「急がず余裕を持って丁寧」がモットーと話していました。



昭和地区植木班のメンバー



この仕事は、何と言っても夏の暑さ、冬の寒さが大変ですが、好きな仕事なので頑張れること、また、仲間が支えとなり休憩時間には政治談義から巷の情報まで楽しく会話がはずんでいるとのことでした。

リタイア後、シルバーへ入会して仲間ができ一日が有効に使えると晩酌がとっても美味しいそうです。そして、仕事が終わった後の「綺麗にしてもらったありがとう」という感謝の一言が、何ものにも代えがたい喜びとのことでした。

(石坂)

頑張ってます

私たちの奮闘記

健康維持し業務に励む

田富地区 田村 一雄

田富福祉公園の夜間管理業務等に就業して2年目に入りました。

施設の管内は温泉施設になっていて、広いロビーや休憩室も整っています。利用者が来館する前に管内の再確認を済ませてから照明を点灯し、夜間業務に入ります。

入浴者は常連さんのほか、幼児から高齢者まで幅広く、時には市外からも入浴に来ています。館内のルール違反や入浴者同士のト



ラブルに注意を払ったり、電話での問い合わせには相手の立場に立って丁寧に対応しています。

一方、公園内は広く、ゲートポール場もありますが、公園内の巡回の

お客様からひとこと



変わらぬ活躍を期待

ラザウォーク甲斐双葉

ラザウォーク甲斐双葉は、2009年4月から営業を始め、お陰様で今年で開店8年を迎えます。

開店当初よりシルバー人材センターから会員を紹介いただき、食品コーナーの商品管理や駐車場で、現在11名の方に就業いただいております。皆さんには、いつも頑張っていたかと共に、お客様への明るい対応に感謝しています。

御来店のお客様からお褒めの言葉をいただくことも多く、先日は駐車場で明るい声掛けをしていただき、大変気持ち良かったです。皆さんの笑顔により、数あるショッピングセンターの中から当店をお選びいただいているお客様も多いのではないかと思います。

今後もラザウォークの大事な一員として変わらぬご活躍を期待すると共に、皆様からのパワーを分けていただきながら我々も負けずに頑張っております。

思いやりで仕事は楽しく

敷島地区 長坂 泰子

時はタバコの吸い殻やゴミ拾いも大切な仕事になっていきます。不審者などにも絶えず目配りをし、今以上に安全、安心に利用いただけるよう努めています。

今後も健康を維持し、業務に励んでいきたいと思えます。

私がシルバー会員として働いているところは、甲斐市役所敷島庁舎です。主に清掃作業を2日交代で、一人で行っています。



人の出入りが多い場所なので、友だちや久しぶりに会う人との出会いがあります。「まだ働いてるだけえ」「生活のためさあ」「何言ってるでえ」：冗談を交わしながら働けることに感謝です。

お客様に気持ちよく来庁していただけるよう清掃に精を出しています。また、木曜日には上3地区(吉沢・睦沢・清川)の出先へ文書を配達します。急カーブの多い坂道運転は緊張しますが、春の新緑や秋の紅葉、マイナスイオンに癒されながら慎重に運転しています。

これまで何事もなく続けられたのも、都合の悪い日は快く融通し合うなど、パートナーの長田様が協力して下さったからと感謝しています。思いやり、優しさ、和合で仕事は楽しくできます。

会員のひろば

ちぎり絵

竜王地区 柳沢 洋子

6年ほど前から「和みの会」で習い始めました。和紙をちぎり糊で色紙に張って作成します。仲間とふれあい、楽しく続けています。



柳沢さんの作品の一つ「キキョウとオミナエシ」

短歌

双葉地区 宮沢 保子

数年前から始めました。初心者ゆえの、怖いもの知らずと言いましようか、月一回の歌会を楽しみにしています。

▼たんぼぼと 肩を並べて

止まりいる グラウンドゴルフの

失敗ショット

▼お彼岸に お参りの姉妹

墓誌を読み 代々長寿と

うなずきあいたり



私の健康法

ソフトテニスで

健康維持



竜王地区 深沢 典夫

私とテニスの出会いは、高校時代からです。部活に入り頑張りましたが、残念なことに今一步のところで、関東大会や全国大会に出場する夢は叶いませんでした。

その後、現役時代に職場のサークル活動に精を出し、さらに42歳から地元クラブに所属し、テニスを続けてきました。

ソフトテニスは、ダブルスで行われ、私は後衛を守ります。私が相手チームに返したボールを、前衛が決めてくれた時の気持ちは最

高です。仲間に恵まれ、山梨県壮年3部で優勝・準優勝・3位と決めることができ、65歳を過ぎてからは、東日本大会、全国大会にも出場しています。

健康に生きるには、何事も意欲をもって、前向きに取り組むことが必要です。やり過ぎることがなく、継続して長く続けることが大

甲斐路

ふるさとの祭り

「鬼子母神大祭」

昭和地区 押越の正法寺

鬼子母神大祭は、江戸宝暦から続く年間最大行事で毎年9月7日の午後7時から開催されています。奉安する鬼子母神様の縁日で、江戸期より信仰者の守護神として全国各地から大勢の参詣者が集います。

▼由来 鬼子母神像は、江戸中期の釜無川の大洪水により流されてきた今の鬼子母神様を当時の村人が拾い上げ、17世日周上人が元禄年間に堂を建立し、奉つて以来の伝統ある祭りです。通常の鬼子母神像は、鬼形と

事だと思えます。病は気からと言いますが、最後は気力です。平成25年には、テニス部門で県の体育功労賞をいただくことができました。今も山梨シニアクラブと竜王クラブに所属し、週2回から3回練習を続けていますが、これからも意欲を持ち前向きにテニスを続けて行きたいと思えます。



言われ鬼の怖い姿をされていますが、正法寺の鬼子母神像は、子供を抱いて笑みを浮かべる珍しい形像をしていて、子育て鬼子母尊神・微笑み鬼子母神などと称されています。

古来より霊験高く、子供の安全、発育、学業はもちろん村の守護神として信仰されています。

祭りの当日は、大祭特別祈禱、書院では琴の音の中、正法寺茶道会による抹茶の接待、門前には露店が並ぶほか、夜8時から打ち上げ花火もあり、夏の夜の風物詩になっています。(昭和町誌・正法寺HPから)

事務局からのお知らせ

今年も管内の各小学校に交通安全旗を寄贈

コスモス花見会の売上金

甲斐市岩森の広城農道沿いで、双葉地区会員が丹精込めて栽培管理したコスモスが咲き誇る中で、10月22日には第8回コスモス花見

会が開催され、約500人の来場者で賑わいました。

当日、販売されたおにぎり、とん汁、焼いもなどの売上金5万円で、交通安全旗70本を甲斐市、中央

市、昭和町の教育委員会を通じ、管内各小学校へ寄贈しました。

子どもたちの登下校の安全や交通事故のないことを願って、平成22年度から毎年この運動を続けており、寄贈した交通安全旗も今回で680本を数えています。

編集後記

この4月からローテーション等により新たな就業場所での仕事をされる会員の皆さんが多くいると思いますが、職場環境や健康に気を配り安全第一で就業してください。

日本老年学会が、高齢者の定義を65歳から75歳に見直すよう提案していると新聞にありました。決定までには紆余曲折が予想され、まだまだ先のことと思われます。

とは言え、この歳になると一つや二つの持病も出てきます。痛い、辛いは普通と考え、うまく付き合い、悩まず、決して無理をしないようにしましょう。

また、外に出て活動するのに気持ちの良い季節にもなりました。変化を敏感に受け止める感性と、常に好奇心と目標を持って、それに向かつて行動することが若さの秘訣だと思います。(畠中)

今後の主な予定

■平成29年度定時総会■

日時 平成29年6月9日(金)
午後1時30分

場所 昭和町総合会館

※開催通知を地域班長・連絡員を通じてお届けしますので、封筒に入っているハガキ(出欠席の届け出、欠席の場合は議決権行使書か委任状)の提出を必ずお願いします。

■グラウンドゴルフ大会■

日時 平成29年5月31日(水)
午前8時30分受付開始

場所 甲斐市双葉スポーツ公園

※シルバー事業のPR、会員と地域の皆さんとの交流の機会として行っています。一般の方も参加いただけます。詳しくは別途お知らせします。

寄稿や情報提供を お待ちしております 広報編集委員会から

当シルバー人材センターの広報誌・会報「生きいき」編集委員会では、「お客様からひとこと」「私たちの奮闘記」へ寄稿や取材に協力いただける方、「会員のひろば」で

紹介している会員さんの趣味や特技、「私の健康法」として何かに取り組んでいる方、また、「甲斐路」などのシリーズもののアイデアやお勧めの見どころ、誌面で紹介したい記事など、広く皆さんからの情報提供をお待ちしています。自薦・他薦は問いません。会員の皆さんのご協力をお願いします。

編集委員

▽委員長 畠中久男 ▽委員
石坂とし子・深沢積善・佐野和人 ▽事務局 勝村秀彦・小田切まり子



昭和町の佐野勝彦教育長に交通安全旗を手渡す五味昭理事(左)



中央市の田中正清教育長を囲む小松和子理事(左)と田村一雄理事(右)



甲斐市の西山豊教育長に交通安全旗を寄贈する瓜生弘理事(右)